



日本大学との連携事業が続々展開中!



市では、令和2年2月20日に芸術学部・危機管理学部・スポーツ科学部と、令和3年2月24日に理工学部と包括連携協定を締結し（23ページ参照）、地域課題の解決と相互発展のため各種事業を推進しています。今回は芸術学部との連携事業により、「富里市のPRポスター」、「地域商品券のデザイン」、「図書館活性化のための企画」を実施しました。

①富里市のPRポスター

市の魅力を発信し知名度向上を図るため、本市の代表的な特産である「にんじん」をテーマにしたPRポスターを作成しました。このポスターは、2月22日から28日まで電車の中吊り広告として掲出されました。



～デザイン協力をいただいた学生たちの思い～

コロナ渦において、健康への意識がこれまで以上に高まっている今、富里市の栄養満点のニンジンが、日本中の人々に届いてほしいという思いから企画をはじめました。

また、身体の健康と同様に、心の健康にもアプローチしたいと考え、見る人にクスツと笑っていたげのような広告を目指しました。

②地域活性「とみさと元気アップ」商品券デザイン

新型コロナウイルス感染症対策の「富里支援パッケージ」第4弾地域活性「とみさと元気アップ」商品券のデザイン作成に協力いただきました。
※とみさと元気アップ事業について、詳しくは5ページをご覧ください。



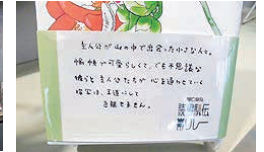
～デザイン協力をいただいた学生たちの思い～

富里らしさを取り入れつつ、皆さんに「親しみやすく、愛されるように」との思いから旧岩崎家末廣別邸に着目しました。そこから旧札を連想し「富里×旧札＝富札」を作成しました。

「富札」中央にはとみちゃんを偉人「富さん」に見立て、色合いはスイカをイメージした赤と緑をメインに使用しています。

③図書館活性化のための企画

「読書がもっと楽しくなる図書館」をコンセプトにした取り組みの1つとして、「読書駅伝^{駅伝}帯リレー」を実施しています。これは専用で作成した本の帯に、読んだ本の感想を書いて、次の読者にお勧めしていく、本に付けた帯を駅伝のタスキのように繋いでいくというもので、企画立案から帯のデザインまで協力いただきました。



～デザイン協力をいただいた学生たちの思い～

本の帯をタスキに見立て、コロナ渦でコミュニケーションが取りにくい世の中を、図書館を通して市民を繋げる素敵な企画にしたいです。



日本大学理工学部と包括連携協定を締結

2月24日、既に包括連携協定を締結している芸術学部・危機管理学部・スポーツ科学部に加え、この度、新たに理工学部とも包括連携協定を締結しました。交通システムや、まちづくり工学、ICT化等の地域課題に対し、専門的な知見から相互発展できる関係を構築し、新たな取り組みを創出していきます。

なお、協定の目的を達成するための具体的な事業については、個別に協議の上、今後取り組んでいきます。

包括連携協定の主な内容

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| (1) 科学的かつ客観的な展開ができる「まちづくり」に関する事 | (4) 教育・人材育成に関する事 |
| (2) 交通ネットワークに関する事 | (5) 人材育成に関する事 |
| (3) デジタル行政の推進に関する事 | (6) その他この協定の目的を達成するために必要と認められる事項に関する事 |

令和2年度富里市市民活動感謝状受賞者

令和2年度富里市市民活動感謝状受賞者として、市内で市民活動を実践している4団体と4名に感謝状を贈呈しました。
受賞団体・受賞者の取り組みについて、順次、広報とみさとに掲載予定です。

- 令和2年度富里市市民活動感謝状受賞者
- | | |
|-------------|------------|
| ○富里マジック同好会 | ○ボランティアあかり |
| ○朗読サークル「青空」 | ○あゆみの会 |
| ○野本 淳一 | ○織田 邦彦 |
| ○村松 彰 | ○渡瀬 英雄 |
- <敬称略>